

がんの知識

乳がん

平成00年度

近年の日本では、2人に1人はがんになり
3人に1人はがんで亡くなっています

乳がんは

40代女性の
がん死亡率

第1位

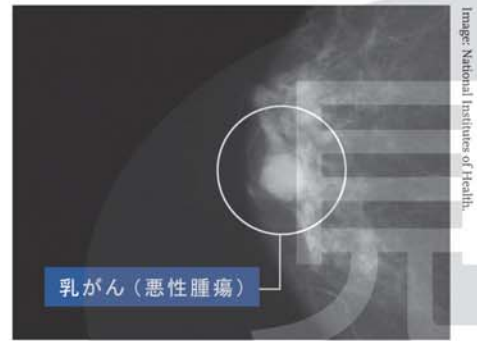


〇〇市 福祉保健部 健康推進課

40代の日本人女性に急速に広がる乳がん

乳がんはここ十数年間で日本人女性に急速に広がったがんです。今日では日本人女性の20人に1人が乳がんにかかると言われる程の広がりを見せています。しかも、乳がんは40代女性が最もかかりやすいがんであるため、“40代女性のがん”なのです。

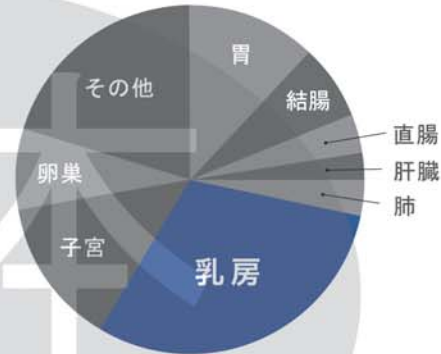
図1.マンモグラフィで撮影した乳房X線写真



40代の日本人女性における乳がんの致死性

乳がんの怖さはその発病年齢の若さだけではありません。一番の怖さは、他のがん同様その致死性にあります。2000年以降、乳がんは40代女性のがん死亡率No.1となり、年間1万人もの女性が乳がんにより亡くなっています。

図2. 40-44歳女性の部位別がん死亡数割合



資料：国立がん情報センター

「自覚症状が出てから」では手遅れ

乳がんは早期発見により完治率が飛躍的に高まるがんです。しかし、専門の訓練を受けた医療従事者でない限り、自己触診により早期の乳がんを発見するのは非常に困難であり、マンモグラフィを受診しなければ、他の部位に転移する前の早期のうちに発見する機会を逃してしまいます。

治療後の5年生存率

| I期(早期) | II期 | III期 | IV期 |
|--------|-------|-------|-------|
| 92.9% | 87.3% | 63.0% | 31.8% |

注：治療後の5年生存率は全国がん(成人病)センター協議会加盟施設の集計データ。全がん協施設の乳がんの5年生存率

〇〇市から約9000円の助成

乳がん検診(マンモグラフィ)は個人診療の場合、1万円を越える高価な検査ですが、検診日に40歳以上の〇〇市民の女性で、昨年度〇〇市の乳がん検診を受けてない方が市の検診を受けると、市から約9000円の助成を受けていることになります*。(自己負担0000円)。

| | |
|-------|------------|
| 検査費用 | 約 0000 円 |
| 助成金 | — 約 0000 円 |
| 自己負担金 | 0000 円 |

※現金が支給されるわけではありません

近年、日本人女性の20人に1人が乳がんになる
 と言われています。ほとんどのがんは
 「自覚症状が出てから」検査に行っても、
 発見が遅れ、手遅れになることもあるため、
 毎年1万人以上の日本人女性が
 乳がんで命を落としています。

乳がん検診について

〇〇市では40歳以上になる女性市民のみなさまに
乳がん検診の受診を勧めております。

乳がん検診受診の流れ

1. 検診を申し込む

はがきか封書で申し込みます。受診票が折り返し郵送にて自宅に届きます。

申し込み締切 平成00年0月00日(〇曜日)必着

記入事項 「乳がん検診申し込み」/氏名(フリガナ)/生年月日/住所/電話番号

送り先 〒000-0000 〇〇市〇〇町0-00-0 健康会館 健康推進課

※ 今年度の受診票やクーポン券がすでに手元にある方は申し込む必要はありません。

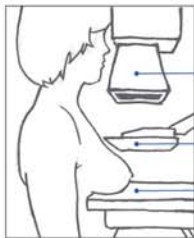
※ 乳がん検診は2年に1度です。昨年度〇〇市の乳がん検診を受診した方は、今年度は市の検診を受診できません。

2. 予約の電話

受診票が手元にとどいたら、市内指定医療機関に直接電話して検査の予約をします。

(同封の市内指定医療機関リスト参照)

3. 検査当日



マンモグラフィ

検診の内容

問診/自覚症状等についてお聞きします

視触診/医師が乳房を視触して、しこりがないか調べます

マンモグラフィ/乳房のレントゲンを撮ります

自己触診法の指導/自己触診方法を指導します

4. 結果について

後日、受診した医療機関に検査の結果を聞きに行きましょう

〇〇市 福祉保健部 健康推進課

〒000-0000 〇〇市〇〇町0-00-0 健康会館内

電話：000-000-0000 FAX：000-000-0000